

項目	番号	意見の概要	意見に対する県の考え方
1 自然環境に関するもの	1	<p>自然再生プロジェクトとあるが、自然再生はどこで行うのか。</p> <p>コンクリートで埋め尽くされた街中で自然を復活させたり、水涵養機能をもつ水田を埋めて宅地にさせないようにするなど、子どもや孫のために、小手先だけの活動だけでなく、自然を増やしたり、減らさないでほしい。</p>	<p>県民一人ひとりの具体的な活動として、「自然再生ふくい行動プロジェクト」では、昔は普通に見ることができた生き物を、今も身近に見ることができるように、例えば個人は家の庭で、町内会は地区の公園で、事業所は敷地内などで、それぞれが身近な生物の生息環境を再生する活動を行い、さらに子どもたちが再生された自然環境を学習にも活用できるようなものにしたと考えています。</p> <p>また、県は、自然再生に向けて、減農薬、有機農業など環境にやさしい農業を進め、水田や畑の自然循環機能を高めていきます。河川などでの公共事業においても、多くの生物が生息できるような工法を進めていきます。</p>
	2	<p>昔、虫取り網を持って野山を駆け巡っていた。今の子らにもぜひ外に出て遊んでほしいが、近くの公園は草だらけで人っ子一人いないし、川は危なくて近寄らせることができない。</p> <p>ぜひ、一昔前の自然の姿を取り戻してほしい。プロジェクトを応援する。私も参加する。</p>	<p>ご意見を踏まえ、本県の自然再生に向けて、県民運動として様々な施策に積極的に取り組んでまいりますので、御協力をお願いいたします。</p>
	3	<p>日常的に触れ合うことができる自然の再生と活用について。</p> <p>最近、学校や公園などでビオトープが整備され、子ども達は喜んで遊んでいるが、近所で身近にある自然と触れ合って遊ぶ姿はほとんど目にしない。今の子ども達(小学生以上)は、作られた自然で作られた時間の中では自然に触れ合えるが、身近な自然で自ら触れ合うことができなくなっているのではないか。</p> <p>これは、大人社会においても、自然は身近なものではなく整備され与えられたものとなっているのではないか。与えられた遊びではなく、自ら自然に触れ合うことができる体制づくりを進めてほしい。</p>	<p>「自然再生ふくい行動プロジェクト」を実施し、かつてはどこにでも見られた身近な動植物を、今も身の回りで見ることができるよう、誰もが気軽に楽しみながら、身近な生き物の生息環境を再生することを目指します。このための方法として、研修会の開催や実地指導を通じ、分かりやすくお示しするなどして、県民の方々に活動への参画を働きかけていきたいと考えています。また、小中学生の親の世代に対しては、子供たちが自然に触れ合うことがいかに大切であるかを十分に理解していただけるよう、親子が楽しんで分かりやすく学べる環境学習に取り組めます。</p> <p>また、県の自然保護センターや海浜自然センターなどでは、身近な自然とふれあうことができる自然観察ウォークや自然教室といった講座を年間を通じて開催しており、今後とも、身近な自然とふれあう機会の提供に努めてまいります。</p>
	4	<p>住居周辺にカラスの糞がたくさん落ちている。自家用車にも落とすし、非常に困っているので、有害鳥獣として駆除してほしい。</p>	<p>今計画においては、有害鳥獣への総合的な対策を実施することとしており、カラスだけでなく、農業や生活環境などに被害を及ぼしている鳥獣については、今後とも、有害鳥獣として、各市町において駆除を実施していきます。</p>

項目	番号	意見の概要	意見に対する県の考え方
2 生活環境 (地球温暖化)に関するもの	5	環境基本計画の中心となるテーマは温室効果ガス排出削減であると考えている。本県の温室効果ガス排出削減目標は、京都議定書の数値(△6%)を下回ってはならない。世の中に先んじて福井県が削減目標を大幅に達成してもよいのではないかと。	国の削減目標は6%ですが、この中には森林吸収分△3.9%、国間の温室効果ガス取引による△1.6%を含めており、県の削減項目に合わせると、実質△0.5%であり、本県の△3%は、国よりも厳しい目標となっています。温室効果ガス排出量の増減は、人口、産業活動など、いろいろな変動要因によりますが、産業、家庭など全ての分野で目標を達成できるよう県民と一体となって削減に取り組んでいきます。
	6	二酸化炭素削減効果の「見える化」に賛成である。最近、テレビやラジオなどで、「例えば〇〇を実行すれば△△%のCO2削減になります」という具体的な事例をよく耳にする。行政機関でもぜひ実行してほしい。	二酸化炭素という見えないものを削減しようとするのですから、県民の皆様による二酸化炭素削減効果を見えるようにすることが大切です。このため、二酸化炭素発生量の削減については、エコ宣言によって具体的な活動がどれほどの削減効果につながるかを分かるようにしています。また、具体的な数値を示しながら、発生した二酸化炭素を消滅させる仕組みを県内版のカーボンオフセット運動として新たに実施し、県民や企業の温暖化防止活動の幅を広げることとしています。
	7	50歳代以降の男性の省エネ活動の実態はどのようなものか。家庭での省エネに協力しているのか。今回、何か対策を盛り込んでいるのか。たぶん、この年代の男性は社会活動に参加することも少なく、企業人としての取り組みしか参加していないのが実態だと思う。	企業や家庭での二酸化炭素排出削減を進めるため、我が家我が社のエコ宣言登録を推進しています。その際、従業員の皆様に、一個人としての登録も依頼することにより、企業人としての取り組みだけでなく、一個人としての削減活動へも広がるような仕組みを講じています。今後は、企業の環境貢献活動として、従業員への環境教育についても積極的に推進していきます。
	8	「ストップ乗りすぎ」、分かりやすいですね。そもそも乗りすぎを抑えるためには、乗らないという意識が大切であるし、プロジェクトに対して賛成する。気になるのは通学対策である。子どもを学校へ送迎しているのも、単に過保護なのではなく、世相が物騒だからであり、治安面の対策をしっかりとすることのほうが重要である。	世帯当たりの自動車保有台数の多い本県では、自動車は必需品ですが、環境負荷軽減のため、徒歩や自転車でも足りる場合に、自動車使用を控えていただきたいと考えています。そこで、まず職場や学校へ働きかける予定ですが、ご指摘のとおり治安面の対策も必要ですので、防犯当局とも連携しながら、ストップ乗りすぎ運動を展開していきます。
	9	県が電気自動車に特化して、電気スタンドを整備したり、電気自動車購入補助をするなどしてはいかか。将来、福井県といえば電気自動車、電気自動車はクリーン、クリーンは原子力、とつなげれば原子力発電のイメージもあがるのではないかと。	一世帯あたりの自動車所有台数が日本一であり、自動車一台当たりの走行距離が全国平均より約1割多い本県の現状を踏まえ、運輸部門における大幅なCO2削減に不可欠とされている次世代自動車(電気自動車・プラグインハイブリッド車等)の普及に全国に先駆けて取り組めます。

項目	番号	意見の概要	意見に対する県の考え方
3 生活環境 (資源循環)に 関するもの	10	<p>毎日の生活のなかで必ず出てくるゴミ。包装紙を減らしてもらったり、スイカの食べた後の皮を天日で乾かして焼却時の負担を減らすなど、私自身できることをしているつもりである。</p> <p>でも、まじめにこつこつ動いている人だけが努力するのは不公平だと思う。レジ袋有料化とかゴミ廃棄有料化など、多くの方が関わるような制度を構築願う。</p>	<p>レジ袋有料化やごみ処理の有料化については、ごみ減量化・リサイクルの促進を図るために有効な方法として、市町ごとに取組みが進められており、家庭からのごみ処理についても7市町が有料化しています。</p> <p>いずれも住民の皆様のご理解とご協力が不可欠ですので、県としても、それぞれの市町の状況に応じて、その取組みを支援していきたいと考えています。</p> <p>また、ごみ問題など環境対策は、県民一人ひとりの地道な努力が必要なため、ごみ減量を促す県民運動も展開します。</p>
	11	<p>公共施設における傘の置き忘れや駅前の放置自転車が見受けられるが、まだ使用できそうな物もある。廃棄せずにリユースしたほうがよいのではないか。焼却に要する費用が安くすむし、廃棄物量抑制にもつながる。3Rの実現を願う。</p>	<p>傘や自転車などの遺失物については、法律によって取扱いが定められており、公共施設の管理者から警察に引渡されています。保管期間が過ぎても落とし主の現れない物は、警察が、使える物は売却しリユースに回し、使えないものは処分しています。</p> <p>県民に対しては、資源の有効利用や、ものを大切にする意識の啓発を引き続き進めていきます。</p>
4 環境を想い行動する人づくりに関するもの	12	<p>福井型環境学習推進プロジェクトとして、学校で子ども達に環境学習を実施することは素晴らしいことである。子どもからお年寄りまでが学び手、教え手、担い手になることは良い手法であり、自らが当事者となって環境保全活動に積極的に取り組んでもらえるものと期待している。</p> <p>ただ、子どもに対する環境学習については、子どもが学校で学んできたことを家に帰って親に訴えかけても、最近の親は聞き流してしまうことが多いと聞く。親教育も必要である。</p>	<p>今回の計画は、福井の環境を県民の手で守り育てること、すなわち、県民の皆様が我が事として環境保全のために行動していただくことを、基本目標として打ち出しています。</p> <p>このプロジェクトでは、本県の特徴を盛り込んだ独自の環境教材を作成することとしており、子ども達だけでなく、大人にも進んで環境活動に取り組んでいただけるよう、親子で楽しめる分かりやすい教材を作成します。</p>